



芝居の間中、舞台上手で三味線を構えるのは、吹雪で凍えるような日も変わりません。「やはり手は冷たくなりますが、それはみんな同じ」と笑います。

「浄瑠璃だけでは拍手はもらえません。私はあくまでも役者である太夫の道先案内」と穏やかな口調で話すのは、黒森歌舞伎の一座「妻堂連中」で浄瑠璃を務める佐藤さん。

江戸時代中頃から始まったとされる黒森歌舞伎は、270年以上の歴史があり、黒森地区の住民の中で綿々と受け継がれてきた農民歌舞伎です。そして黒森歌舞伎といえば、毎年旧暦の小正月に行われる雪中芝居。浄瑠璃は舞台上手に座り、弾き語りでも物語を進めます。

三味線の音は道先案内



Sato Koshi

今月の人 佐藤公志さん

(黒森)

黒森歌舞伎「妻堂連中」太夫部

黒森歌舞伎らしさを受け継いで

今年の本狂言の演目「菅原伝授手習鑑」は、平成9年以来16年ぶりの上演。実は佐藤さんは16年前の上演では役者として武部源蔵を演じていました。約30年の役者時代があり、現在も振者(演出)を補助して役者に芝居を付けることもあるそうです。

「小さいころから見えてきた黒森歌舞伎らしさというのは感覚的なもので、型を崩すとどんどんなくなっていくと思います。私が指摘するのは好き嫌いではなくルール。役者を育てて歌舞伎を受け継ぐ、ずっとこの繰り返しです。とはいえ、どんな役者も一人では芝居はできません。裏で大勢の人が役者や舞台を支えてくれて、観客がいてこそ幕が開くことに感謝しなければいけません」

役者は想像できないほどのプレッシャーを抱えて本番を迎えるものと言う佐藤さん。今年の正月公演二日目は日曜日です。ぜひ佐藤さんの弾き語りと役者の息遣い、演舞場の舞台から吹く風を感じてください。

◆2月15日(金)、17日(日)は正月公演です。詳しくは本紙裏表紙をご覧ください。

伝えたい酒田の味

昔ながらの酒田の味
酒田市食生活改善推進員が紹介します

33

おから炒り

「おから」は豆腐を製造する過程で大豆から豆乳を絞った後に残ったもの。大豆の半分以上を占めるおからには、大豆の栄養素が多く残っています。ゴボウの2倍の食物繊維を含み、カルシウム、タンパク質、炭水化物、カリウムなども豊富です。特に

大豆の炭水化物には腸内の善玉菌のエサとなるオリゴ糖が含まれていて、食物繊維とともに腸内環境を整える作用があります。絞りカスの意味の「から」を丁寧にして「おから」の名前になったようですが、栄養豊富で整腸作用により便通の改善や免疫力の向上なども期待される優秀な食材です。



【材料】6人分

おから……300g^ラ サラダ油……大さじ2
ゴボウ……2分の1本 だし汁……400cc
ニンジン……4分の1本 しょうゆ……大さじ3
シタケ……2枚 砂糖……大さじ1
長ネギ……2分の1本
絹さや……20g^ラ

【作りかた】

- ①ゴボウは皮をむき笹がきにする。酢水に浸してアクを抜き、ザルに上げて水気を切っておく。
- ②ニンジンは縦半分に切り、斜め千切りにする。シタケは千切り、長ネギはみじん切りにする。
- ③絹さやはヘタと筋を取り除き、熱湯でさっとゆでて冷水にとる。クッキングペーパーなどで水気をふき取り斜め千切りにする。
- ④おからはフライパンでさらっとするまで、から煎りして水分を飛ばす。
- ⑤鍋にサラダ油を入れ、ゴボウ、ニンジン、シタケの順で炒め、油がなじんだら、だし汁、しょうゆ、砂糖を入れて煮る。
- ⑥全体に味がなじんだら、おからを入れて焦げ付かないように木べらで混ぜながら、おからに火を通し味を染み込ませる。
- ⑦長ネギ、絹さやの順で加え、その都度混ぜ合わせて、火を止め出来上がり。

食生活改善推進員からの

ワンポイント

おからをから煎りすると生臭さがなくなり、だし汁を吸って味わい深い仕上がりになります。肉を加えるときは⑤と一緒に火を通します。

関市観光物産課観光物産係 ☎26-5759

山形県内の観光業や関係機関の代表が参画し、「山形デスティネーションキャンペーン推進協議会」が設立されました。デスティネーションキャンペーンは行先・到着地の意味するDestinationと宣伝の意味のCampaignを組み合わせた言葉で、通常「DC」と呼ばれています。このキャンペーンでは、地方の観光業者や自治体、それ



▲山形DCのキャッチコピーとマスコットが決定。山形県の形である「人の顔」がモチーフのほのぼのとしたキャラクターです。協議会では、愛称の募集も予定しています

にJRグループが連携して、開催地に全国から誘客を図ります。

来年、平成26年夏に予定される山形DCに向けた準備がこれから本格化します。本県全域を挙げてのDC開催は10年ぶり6回目。今年の夏のプレDC、来年の夏の山形DCを通じ、多くの観光客が来県することが期待されます。

「山形ならではの、酒田ならではのの旬の素材を掘り起し磨き上げることで、地域の発信力向上を図っていきたいです」と話すのは土門拳記念館の大竹さん。今年開館30周年を迎える同記念館ではプレDCに合わせて特別の催しも検討中とのこと。「観光客の皆さんに、気軽に声を掛けたり、あいさつをしたり、ちょっとした心遣いが街の魅力アップにつながるはず」とも話します。DCは、酒田を全国にアピールする良いチャンス。市民総参加のおもてなしを心掛けたいものですね。

フォトギャラリー

思い出のまち 10



家族そろって芝居見物

昭和41年の黒森歌舞伎正月公演の様子です。

雪の上にわらを敷いた棧敷席で、重箱や岡持ちに入れられたごちそうを食べながらのんびり芝居見物。この地芝居の魅力を撮影しようと集まるカメラマンの多さは昔も今も変わりません。

水道まめ知識

おいしい水を届けます

22

関市水道局工務課管路係

☎22-1813

濁り水が発生したら水道局へ連絡を

昨年末、一部地域で発生した濁り水は、回復まで長時間に及び、大変ご迷惑をおかけしました。お詫び申し上げます。

通常の水道水は無色透明ですが、水道管の工事などで一時的に水の流れが変わると、突発的に濁

りや赤水が発生する場合があります。長年使用した水道管の内には、さびが付着しており、このさびに含まれる鉄分が流れてしまうために起こるものです。濁り水の発生など非常時における飲料水の供給は水道局で行われます。水道水の色に異常が見受けられた場合は、水道局へ連絡をお願いします。

◎濁り水や赤水が出たら

- ①洗濯をしているときは、すぐに中止してください。また電気温水器や受水槽を使用している場合は、すぐに元栓を閉めてください。
- ②しばらく水を流して様子を見てください。
- ③おさまらないときは、水道局に連絡してください。